

議会運営委員会 行政視察報告



報告書はこちら



岐阜県可児市（7月10日）
・議会が政策提言や政策立案する機能の強化について
・議員間討議など議会審議の活性化について
 政策サイクルの構築をはじめとする、議会の効率化や改革推進体制の確立など、多角的な取組みを通じて議会改革を推進されていた。



愛知県犬山市（7月11日）
・政策提言サイクルの構築について
・議員間討議など議会審議の活性化について
 「権限を最大限発揮できる議会」を目指し、「市民参加」「議員間討議」「政策立案・政策提言力の向上」の3つのステップで取組が進められていた。



議決結果

9月定例会ではこんなことが決まりました

予算常任委員会 総務環境常任委員会 文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会

常任委員会に付託された議案には、表の左端にそれぞれの常任委員会を示す色が付いています。

議案番号	議案の件名	議決結果
報告6号	専決処分した事件の報告について（令和6年度霧島市一般会計補正予算（第3号）の専決処分について）梅雨前線により発生した局地的な大雨の影響によって6月下旬に被災した施設の復旧に要する経費	承認 全会一致
議案69号	霧島市国分ひまわり園の設置及び管理に関する条例の一部改正について 関係法律の改正により引用条項が繰り上げられたことから条例の改正をする	原案可決 全会一致
議案71号	霧島市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について 老朽化した市営住宅を取り壊すため条例の改正をする	原案可決 全会一致
諮問3号	人権擁護委員の推薦について 久保 京子氏	同意 全会一致
諮問4号	人権擁護委員の推薦について 柳田 五月氏	同意 全会一致
議案70号	霧島市国民健康保険条例の一部改正について 関係法律の改正により被保険者証が廃止されることから条例の改正をする	原案可決 賛成多数
議案72号	霧島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正について 重度心身障害者に対する医療費の助成に関する事務について個人番号の利用を行うことなどから条例の改正をする	原案可決 賛成多数
議案73号	請負契約の締結について R6国分北小学校校舎（20号棟）長寿命化改良ほか工事（建築）	原案可決 全会一致
議案74号	請負契約の締結について R6単人中学校校舎（19号棟ほか）長寿命化改良工事（建築）	原案可決 全会一致
議案75号	鹿児島県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について 関係法律の改正により規約の一部を変更する	原案可決 賛成多数
議案76号	令和6年度霧島市一般会計補正予算（第4号）について 梅雨前線により発生した局地的な大雨の影響によって6月下旬に被災した施設の復旧に要する経費や公共施設等の整備・改修に要する経費のほか、令和5年度決算等に基づく国・県への償還金や地方自治法の規定に基づく令和5年度決算剰余金の積立て	原案可決 全会一致
議案77号	令和6年度霧島市介護保険特別会計補正予算（第1号）について 地域生活配食事業に要する経費、介護給付費準備基金への積立てに要する経費など	原案可決 全会一致
議案78号	令和6年度霧島市水道事業会計補正予算（第1号）について 台明寺配水区の基幹管路布設工事に係る経費	原案可決 全会一致
議案79号	請負契約の締結について R6（仮称）霧島市総合保健センター建設工事（建築）	原案可決 全会一致
議案94号	令和6年度霧島市一般会計補正予算（第5号）について 台風10号で被災した施設の復旧に要する経費など	原案可決 全会一致

文教厚生常任委員会

文教厚生
常任委員会

◎松枝 正浩 ○野村 和人 藤田 直仁 塩井川公子 山口 仁美 宮田 竜二
前島 広紀 有村 隆志 ◎委員長 ○副委員長

文教厚生常任委員会では、6件の議案・1件の陳情を審査しました。

（仮称）霧島市総合保健センター 6億6,000万円で建設へ

国分保健センターとすこやか保健センター、こども発達サポートセンターの機能を集約。鉄筋コンクリート造り地上3階建てで、霧島警察署北側の市営駐車場内に整備する。ヤマガチ・末重・末広特定建設工事共同企業体が落札。

全会一致で可決すべきものと決定しました



山口 仁美 議員

Q 集約化により市役所業務が効率化するが、駐車場が共有となる利用者にとっても利便性は増すと考えているのか。

A 平日は市役所別館利用者や健診利用、休日はイベントでの利用が多い。駐車台数を確保するため工夫していく。

学校規模適正化に向けた取組を提言

霧島市では、平成29年に「これからの霧島市立小学校のあり方等について」方針を決定したが、その後も中山間地域を中心に学校の児童生徒数が著しく減少しており、今後、数年内に数校が存続の危機と予測される。そのため、学校規模適正化に向けた取組に関して行政視察や所管事務調査を経て、委員会から提言を行った。

会議録はこちら



文教厚生常任委員会 行政視察報告



報告書はこちら

兵庫県神戸市（7月17日） こども・若者ケアラー支援事業

祖母を介護していた20代の孫が犯した刑事事件をきっかけに、若者ケアラー支援事業を充実させていた。

大阪府門真市（7月18日） 学校適正配置推進事業

「めざす教育を実現するために、新しい学校づくりをしたい」との固い決意と熱意により同事業を推進し、義務教育学校建設中。本市の課題に参考となり、委員会提言につながった。

大阪府大東市（7月18日） 家庭教育支援事業

教育の出発点は家庭として、小学校1年生を対象に、スクールソーシャルワーカーが家庭訪問する事業、保護者の孤立化を解消するためのカフェサロン事業などがある。

愛知県岡崎市（7月19日） 校内フリースクール（F組）・夜間学級（S組）の設置

不登校の児童・生徒が急増している状況に対して、学校側が子どもに適應するという新しい価値観で、誰一人取り残さない教育を推進。すべての中学校20校にフリースクール学級（F組）を設置し、約300人の生徒が通学している。